

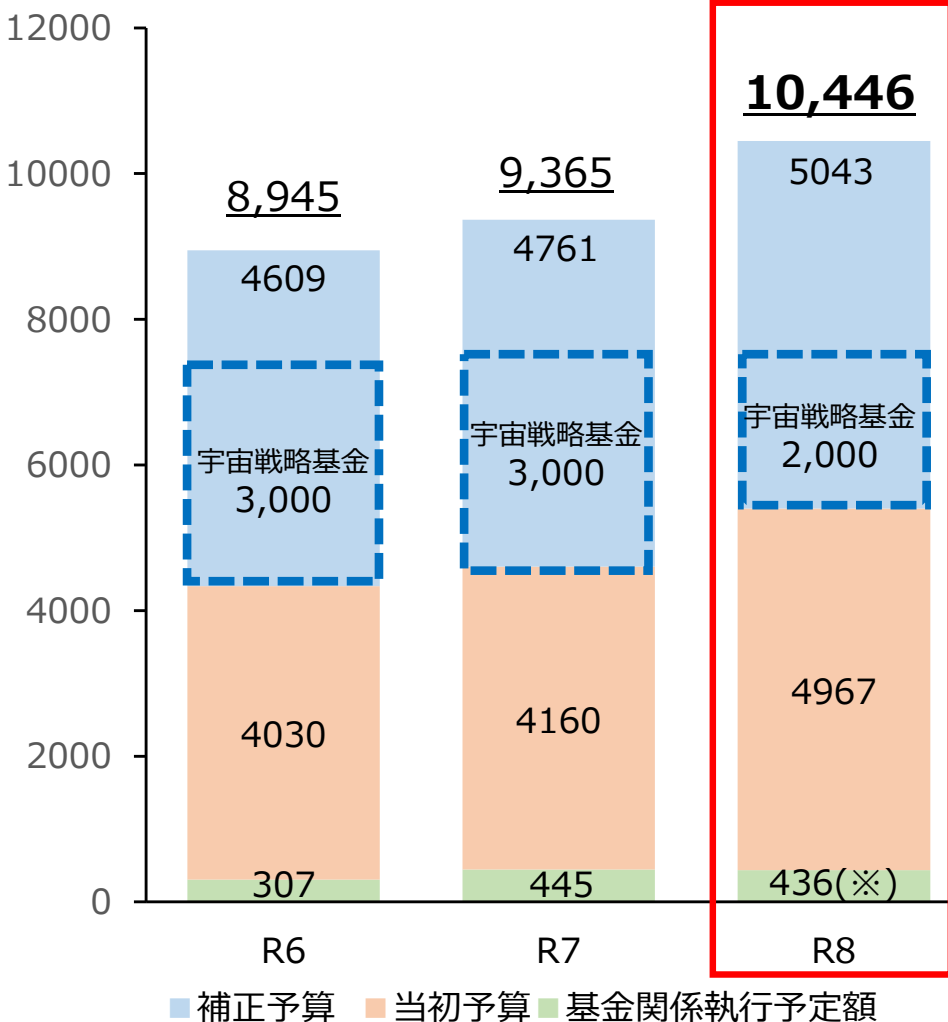
令和8年度当初予算案及び令和7年度補正予算における宇宙関係予算

合計 1兆446億円（対前年度比1,081億円増[+12%]）

（令和8年度当初予算案 4,967億円 + 令和7年度補正予算 5,043億円 + 令和8年度基金関係執行予定額 436億円）

（令和7年度当初予算 + 令和6年度補正予算 + 令和7年度基金関係執行予定額 9,365億円）

（単位：億円）



府省名	R7補正		R8当初（案）		合計	
		対前年		対前年		対前年
1. 内閣官房	328	+3	622	▲0	950	+3
2. 内閣府	190	+2	214	+8	404	+10
3. 警察庁	-	-	9	+0	9	+0
4. 総務省	1,825	+1,275	87	▲7	1,911	+1,267
5. 外務省	5	+5	3	+0	8	+5
6. 文部科学省	1,555	▲597	1,518	+2	3,073	▲595
7. 農林水産省	100	+71	35	▲10	135	+61
8. 経済産業省	886	▲114	53	▲20	939	▲134
9. 国土交通省	121	▲359	188	▲20	309	▲379
10. 環境省	3	+3	55	+1	58	+4
11. 防衛省	30	▲6	2,183	+854	2,213	+847
合計	5,043	+282	4,967	+807	10,010	+1,090

（注）四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。

※「基金関係執行予定額」として、経済安全保障重要技術育成プログラム（Kプロ）及びSBIRフェーズ3基金のうち宇宙関係のテーマについて、436億円を計上（令和7年12月時点見込み）。

主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計： 1兆 446億円

※ 各金額は四捨五入によって算出

【内閣官房】	950億円	【農林水産省】	135億円
● 情報収集衛星の開発・運用	950億円	● スマート農業技術開発・供給加速化対策	90億円
【内閣府】	404億円	【経済産業省】	939億円
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	340億円	● 宇宙戦略基金（経済産業省計上分）	740億円
● 宇宙開発利用推進費	41億円	● 経済安全保障の確保に資するサプライチェーンの強靱化事業（人工衛星、ロケットの部品）	146億円
● 中央防災無線網の運用等	5億円	※この他、令和8年度執行予定額としてKプロ（166億円）及びSBIRフェーズ3基金（91億円） 合計257億円	
● 衛星データ等を活用した船舶警戒監視システム開発・運用	6億円の内数		
【警察庁】	9億円	【国土交通省】	309億円
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	9億円	● 無操縦者航空機の運用等	119億円
【総務省】	1,911億円	● 人工衛星の測量分野への利活用	71億円
● 宇宙戦略基金（総務省計上分）	310億円	● 静止気象衛星ひまわりの運用等	25億円
● 自律性確保に向けた低軌道衛星インフラ整備事業	1,500億円	● 次期静止気象衛星の整備	65億円
● 革新的情報通信技術（Beyond 5G(6G)）基金事業	239億円の内数	【環境省】	58億円
【外務省】	8億円	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	40億円
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3億円	【防衛省】※歳出予定額を記載	2,213億円
● 宇宙技術を活用したアフリカ・太平洋島嶼国の災害対応力強化及び画像分析基盤の強化	5億円	● 衛星コンステレーションの構築	262億円
※この他、無償資金協力およびJICA交付金（3,012億円）の一部にて、グローバルサウスへの宇宙分野に関する援助を実施		● 次期防衛通信衛星等の整備	208億円
【文部科学省】	3,073億円	● 次世代防衛技術実証衛星の開発	24億円
● 宇宙戦略基金（文部科学省計上分）	950億円	● 画像解析用データの取得	241億円
● 基幹ロケットの開発・高度化、打上げ高頻度化	203億円		
● 将来宇宙輸送システムに向けた研究開発	38億円		
● RAMSES（プラネタリーディフェンスのための小惑星探査）	48億円		
● アルテミス計画に向けた研究開発等	487億円		
※この他、令和8年度執行予定額としてKプロ（49億円）及びSBIRフェーズ3基金（130億円） 合計179億円			

宇宙開発戦略推進事務局の令和8年度予算案

1. 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用

R8当初169.1億円+R7補正171.2億円 計 340.3億円

(※R7当初169.1億円+R6補正予算136.9億円 計306.0億円)

- 持続測位が可能となる7機体制の確立と、バックアップ機能の強化や利用可能領域の拡大が可能になる11機体制の構築を目指し、2、3、4号機後継機及び8号機並びに地上設備の開発・整備を実施。



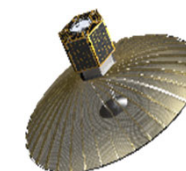
準天頂衛星「みちびき」

2. 宇宙開発利用推進費

R8当初23.0億円+R7補正17.7億円 計 40.7億円

(※R7当初23.0億円+R6補正50.0億円 計73.0億円)

- 衛星・月面関連技術等、各省が連携して戦略的に取り組むべき技術開発を着実に推進。



©IQPS, Inc.

SAR衛星コンステレーション
利用実証

3. その他（調査、事務費等）

13.2億円 (※R7当初10.5億円)

※機構定員拡充に伴う事務費増加分を計上。

R8当初205.2億円 + R7補正 188.9億円 合計 394.1億円

(※R7当初202.6億円+R6補正予算186.9億円 計 389.5億円)

(参考) 宇宙戦略基金

2, 000.0 億円【文科省：950億円、経産省：740億円、総務省：310億円】

(※R6補正予算：3000.0億円)

- 速やかに総額1兆円規模の支援を行うことを目指すとともに、民間投資や宇宙実証の加速、地域やスタートアップ等の国際競争力につながる特色ある技術の獲得・活用や産業の集積等を促進するため、スタートアップを含む民間企業や大学等の技術開発への支援を強化・加速。